

目標③ 豊かな体験活動による学びの促進

施策6：人とかかわる体験の充実（重点事項）

施策7：遊びの環境づくり

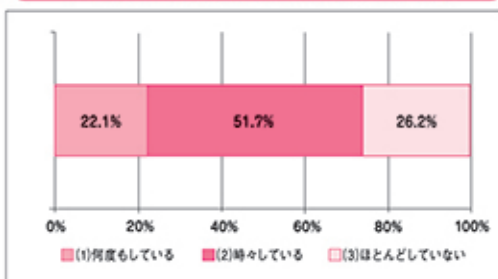
思いやりの心、約束を守ること、生命や自然の大切さなどは、教えられて学習するものというより、むしろ、体験を通じて自らが気づき、実感することによって、初めて習得できるものです。また、様々な体験を積み重ねることにより、自ら考え、自ら行動する姿勢を身に付けることができるようになります。

様々な**体験活動**を通して、道徳性や社会性、自発的な意欲などが育まれます。

幼児期に行う体験って？

幼児期に行う体験は、**人とのかかわりや遊びを中心とした活動**であり、子供はこれらの体験活動を通して、社会生活を営んでいく上での原点となるものを獲得していきます！

自然体験活動をしている割合



出典：平成29年度幼児教育に関わるアンケート（宮城県教育庁教育企画室）

今後の方向性

地域の資源や人材を活用し、身近な地域における体験活動機会の拡充を図るとともに、取組の周知を行っていきます。



「豊かな体験活動による学びの促進」を図るために家庭でできる取組

- 子供と一緒に外へ出かけてみるのが大切です。
- 年齢の違う人とふれあうのが大切です。



※ 体験活動の一例です。